

## 佛教大学鷹陵同窓会 会長 祝辞

本日、ここに学位を取得し卒業をされた149名の方々、大学院を修了された45名の皆様、誠におめでとうございます。

晴れてこの日を迎えられたことを、鷹陵同窓会を代表して心よりお祝いを申し上げます。卒業・修了を迎えられる迄の長い間、皆様の学業と研究活動を支えてこられた学長先生ならびに諸先生方のご指導に対し、改めて敬意を表したいと思います。

通信教育で卒業をすることは容易な事ではなく、自分で計画を立て、自らを律し己を励まさないければなりません。証書を手にした今、皆さんの胸の中には、様々な思いが去来し、大きな満足感を得られたのではないのでしょうか。

勉学の最中、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の厄災のなかで、厳しい制約を受けながら全く予期しなかった経験をされ、勉学にも影響があったのではないのでしょうか。

又、ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際的なルールに違反するものであり、世界経済や社会秩序が大きく影響を受けております。

このような時代を生きるからこそ、在学中に学び得た「他者を認め、他者に親しみ、他者を敬う勇気」「実社会を重視し、現実直面して、揺るがない実践力」を、それぞれの場で生かし、活躍される事を希望いたします。

私達が学んだ佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ、伝統有る佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであります。

本日、皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると同時に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆となります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和31年に第一期生の有志により立ち上げられ、日本国内に支部を置き、現在2万人以上の同窓会員を擁し、地域を跨いで活動も行われています。

同窓会とは不思議なもので、佛教大学の卒業生というだけで旧知のような仲になってしまいます。自分自身、先輩や多くの仲間との交流によって、思わぬ人脈が広がり自身の成長に大いに役立っていると感じており、卒業されました皆様のご参加を得て、さらに力強い活動ができるものと期待しております。

最後になりましたが、皆様の今後のご活躍ならびにご健勝、ご多幸を祈念しお祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和5年3月25日 佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美